

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 8 月 31 日(2022.8.31)

【公開番号】特開 2022-68516(P2022-68516A)
【公開日】令和 4 年 5 月 10 日(2022.5.10)
【年通号数】公開公報(特許)2022-081
【出願番号】特願 2020-177249(P2020-177249)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 8 月 23 日(2022.8.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

予め定められた判定条件の成立に基づいて特別判定を実行する手段と、

前記特別判定の結果に基づいて特別遊技状態に移行させることが可能な第 1 移行手段と

、

前記特別判定が行われることに基づいて遊技回用動作が開始され、前記特別判定の結果に対応した報知結果とされることを遊技回の 1 回として、遊技回が行われるように制御する遊技回制御手段と、

30

所定の更新契機に基づいて所定の更新情報を更新することが可能な更新手段と、
を備え、

遊技状態として特別遊技状態とは異なる特定遊技状態を有しており、

前記更新手段の更新結果が所定結果となることに基づいて特定遊技状態に移行させることが可能な第 2 移行手段と、

前記特別判定の結果又は前記特別判定とは別に行われる特定判定の結果に基づいて特定遊技状態に移行させることが可能な第 3 移行手段と、

所定の場合に前記特別判定又は前記特定判定の結果に対応した所定報知が遊技回にて行われるように所定設定を実行することが可能な報知設定手段と、

を備え、

40

所定の遊技回において、前記報知設定手段による前記所定設定が行われる前に前記更新手段による前記所定の更新契機の更新が行われるように構成されていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記更新手段の更新結果が前記所定結果となり、且つ、前記特別判定又は前記特定判定の結果が特定遊技状態への移行に対応した結果となった場合に、前記第 2 移行手段による特定遊技状態への移行が前記第 3 移行手段による特定遊技状態への移行より優先されることを可能とする手段を備えていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記更新手段は、前記特別判定の結果が特別遊技状態への移行に対応しない所定判定結果

50

になった場合に前記所定の更新情報を更新することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

予め定められた取得条件が成立したことに基づいて特別情報を取得する情報取得手段を備え、

前記情報取得手段により取得された特別情報に基づいて前記特別判定が行われるように構成されており、

前記特別判定の対象となった特別情報又は当該特別情報から導出される特定情報に基づいて図柄変動演出が遊技回にて行われるように設定する手段と、

前記更新手段の更新結果に対応した特定報知を実行することが可能な特定報知実行手段と

10

を備え、

前記特定報知実行手段は、前記更新手段により前記所定の更新情報が更新されたことに基づいて前記特定報知の報知内容を更新する報知更新手段を備え、

前記遊技回制御手段は、前記遊技回用動作が行われた後、前記報知結果に対応した報知が所定報知期間にて行われるように遊技回を制御するものであり、

前記報知更新手段は、前記更新手段による前記更新が行われる遊技回の前記遊技回用動作が終了してから次の遊技回での前記図柄変動演出が開始されるまでの期間におけるいずれかの所定タイミングにて前記報知内容の更新を実行することが可能な手段を備えていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載の遊技機。

20

【請求項 5】

予め定められた取得条件が成立したことに基づいて特別情報を取得する情報取得手段を備え、

前記情報取得手段により取得された特別情報に基づいて前記特別判定が行われるように構成されており、

前記特別判定の対象となった特別情報又は当該特別情報から導出される特定情報に基づいて図柄変動演出が遊技回にて行われるように設定する手段を備え、

前記更新手段の更新結果が所定結果となった場合の前記第 2 移行手段による特定遊技状態への移行が、前記遊技回用動作が終了してから次の遊技回での前記図柄変動演出が開始されるまでの期間におけるいずれかの特定タイミングにて行われるように構成されていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかに記載の遊技機。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

例えばパチンコ機等の遊技機においては、通常遊技状態と、それよりも遊技者にとって有利な遊技状態とを有し、所定条件の成立に基づいて遊技状態を切り替えるなどの制御を行い、遊技進行に関する各種切り替えを行うものが知られている（例えば特許文献 1 参照）。

40

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

ここで、上記例示したような遊技機等においては遊技進行に関する所定の切り替えを行う上で未だ改善の余地がある。

【手続補正 4】

50

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0005
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0005】

本発明は、上記例示した事情等に鑑みてなされたものであり、遊技進行に関する所定の切り替えを好適に行うことが可能な遊技機を提供することを目的とするものである。

【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0006】

10

本発明は、
予め定められた判定条件の成立に基づいて特別判定を実行する手段と、
前記特別判定の結果に基づいて特別遊技状態に移行させることが可能な第1移行手段と

、
前記特別判定が行われることに基づいて遊技回用動作が開始され、前記特別判定の結果に対応した報知結果とされることを遊技回の1回として、遊技回が行われるように制御する遊技回制御手段と、

20

所定の更新契機に基づいて所定の更新情報を更新することが可能な更新手段と、
を備え、
遊技状態として特別遊技状態とは異なる特定遊技状態を有しており、
前記更新手段の更新結果が所定結果となることに基づいて特定遊技状態に移行させることが可能な第2移行手段と、
前記特別判定の結果又は前記特別判定とは別に行われる特定判定の結果に基づいて特定遊技状態に移行させることが可能な第3移行手段と、
所定の場合に前記特別判定又は前記特定判定の結果に対応した所定報知が遊技回にて行われるように所定設定を実行することが可能な報知設定手段と、
を備え、
所定の遊技回において、前記報知設定手段による前記所定設定が行われる前に前記更新手段による前記所定の更新契機の更新が行われるように構成されていることを特徴とする。

30

【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0007
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0007】

本発明によれば、遊技進行に関する所定の切り替えを好適に行うことが可能となる。

40